

消防機器の改良・開発部門において

嶺北三国消防署 西辰司消防士長が

最優秀賞を受賞！

嶺北三国消防署の西辰司消防士長（36歳）が、水難救助訓練用のダミー人形を開発、このほど一般財団法人全国消防協会が主催する「消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文」（※1）の消防機器の部で全国最優秀賞に輝きました。



表彰式での作品発表



最優秀賞を受賞（表彰式）

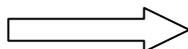
平成25年6月26日（水）北九州市で開催された全国消防長会総会後に行なわれた表彰式に出席し、作品発表を行いました。

（※1）消防機器の改良・開発と消防に関する論文を広く募集し、消防職員の資質向上と消防の発展に寄与することを目的として、一般財団法人全国消防協会が実施している事業で、その作品は、消防職員自らの手により実用的な改良開発を行っているため、高い有用性や実用性があり、現在は商品化、製品化を希望する企業からの照会も増えてきています。なお、選考については、組合内部での選考会后、全国各地支部の選考委員会及び消防協会選考委員会での2段階の厳しい審査を経て決定したものです。

☆ 開発に至った経緯 ☆

これまでの水難救助訓練用ダミー人形は、「値段が高価」「搬送が不便」「乾燥に時間がかかる」おまけに中身は砂袋・・・一回の訓練使用に際して非常に効率が悪いものでした。

従来型
訓練用ダミー人形



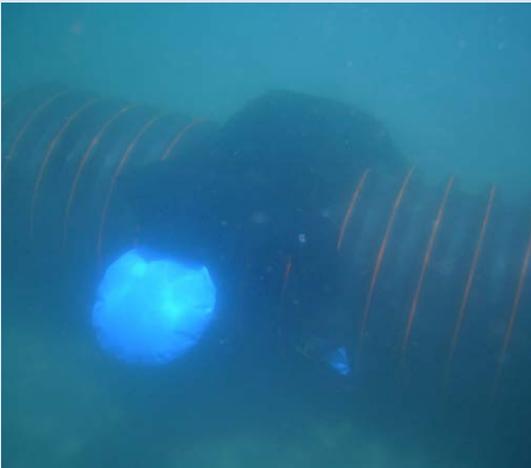
☆ そこで!進化したダミー人形(ウォータードール)を考案 ☆

表面は、ビニール素材を使用し、中身は空気と水(° o °)、折りたためばただのビニール袋に変身、搬送がとても楽になりました。



☆ そして、最大の特徴は(。口。) ☆

従来型は、沈んだら沈みっぱなしでしたが、ウォータードールはなんと！訓練状況に応じ、水と空気の割合を変えることで **4 変化**を実現！しかも開発コストは従来型の **6 分の 1** で作成可能、画期的な訓練人形を開発したもんだ。(ちなみに従来型のお値段は数十万円となんとも高価)

	
立位状態 (水量 54ℓ 空気量 6ℓ)	海面浮遊状態 (水量 54ℓ 空気量 6ℓ)
	
海中浮遊状態 (水量 57ℓ 空気量 3ℓ)	海底水没状態 (水量 60ℓ 空気量 0ℓ)

これからは、新開発したウォータードールを使って訓練に励み、一人も多くの 尊い命を救えるよう頑張っていきます。